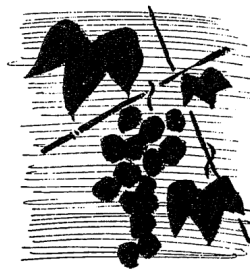


農業



平成28年9月号
会誌 No. 1616

目次

巻頭言

希少糖という糖……………貝沼 圭二 3

論壇

農村地域の自然環境修復・雇用創出と
企業の社会的貢献（CSR）の活用……………両角 和夫 4

春期中央農事講演会

農業ロボットの現状と課題……………野口 伸 6
講演…………… 6
質疑応答…………… 23

農業懇話会

平成27年度 食料・農業・農村白書……………八百屋市男 28
質疑応答…………… 40

農事功績者座談会

カンキツ専作法人経営…………… 44
農業の6次産業化による地域活性化への挑戦！……………秋竹 新吾 44
現地指導者のコメント……………大橋 真人 53
意見交換…………… 55

農業・農村の現場から

ありのままの農村の暮らしでおもてなし……………澤野 久美 63
- 大分県宇佐市安心院町「舟板昔ばなしの家」・中山ミヤ子氏 -

世界の農業は今

ボリビアの農業農村の生活改善……………泉原 明 68

私の経営と志

農業とデザインを融合した先進的な花き経営……………安田 一平 73
- 『農業×デザイン』 -

農政情報

…………… 75

大日本農会だより…………… 76

ミニ情報

「昭和40年度以降の食料自給率の推移」…………… 72

表紙写真説明

全国和牛能力共進会（長崎県長崎市）

全国和牛能力共進会は、全国和牛登録協会（京都市）が主催して5年に1度開かれる全国規模の和牛の品評会で、近年は「和牛のオリンピック」として広く一般にも知られるようになってきた。第10回全国和牛能力共進会（以下、共進会）は平成24年10月25日～29日に長崎市のハウステンボスにおいて開催された。

共進会の会場では畜産だけではなく、農業、観光、文化に関する様々なイベントも開催され、開催地への経済効果だけでなく一般来場者が農業に接することができる貴重な機会でもある。

表紙写真は、共進会会場に入場していく和牛たちで、まさに「和牛のオリンピック」と呼ばれるにふさわしい堂々とした行進である。

次回の第11回共進会は宮城県仙台市（夢メッセみやぎ）において平成29年9月7日から11日まで5日間の日程で開催される。

（写真：（独）家畜改良センター，文：（独）家畜改良センター 松本 和典）